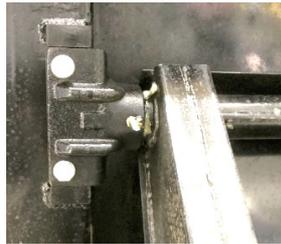


改善箇所説明図

【対象車両外観】

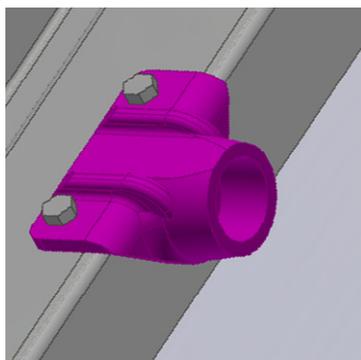


【不具合対象部位】

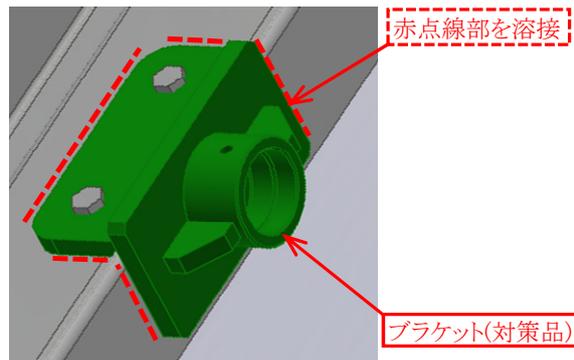


荷箱ダンプ状態

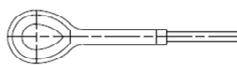
【改善対象部位詳細】



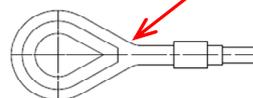
【現状】ブラケット固定:ボルト2本



【改善後】ブラケット固定:溶接+ボルト2本



【現状】



【改善後】

 は交換する部品を示す。

【不具合の内容】

塵芥車において、荷箱とダンプ機構を連結するブラケットの品質評価が不適切なため、締結部の強度が不足しているものがある。そのため、荷箱を最大に上げた時の衝撃により締結部に想定以上の応力がかかることで、固定用のボルトが折損し、最悪の場合、荷箱とダンプ機構が分離し、荷箱が後転するおそれがある。

【改善の内容】

全車両、荷箱とダンプ機構を連結するブラケットをボルト固定方式から溶接固定方式に変更した対策品に交換する。
合わせて、安全対策のため、荷箱とサブフレームを繋ぐワイヤを対策品に交換する。

【識別方法】

改善実施済車には運転者席側ドア開口部のドアロックストライカ付近に No.4949のステッカーを貼付する。